

発言通告書(総括表)

令和6年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	田中議員 (国民)	オーバーツーリズム対策 モビリティの活用 360度多面的人事評価の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの回復に伴うオーバーツーリズムによるトラブルの未然防止と抑制に向けた取組み ・観光客の集中による混雑やマナー違反、歴史的文化的施設保護等の課題と対応策 ・外国人路上喫煙者増加への対策 ・来街者でも認識しやすいピクトグラムを活用した統一ロゴ表示と統一ネーミングの導入 ・QRコード等を利用した公衆喫煙所、お手洗い、ゴミ箱等の案内と周知方法 <ul style="list-style-type: none"> ・電動カート、トゥクトゥク、グリーンスローモビリティなど、移動手段の確保、観光振興、ラストワンマイルなど交通課題解決のための利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・従来の上司から部下への一方的な人事評価に加え、同僚や部下などからの多面的な評価制度の導入 ・匿名性を担保し、公平性、客観性、多角的な観点を取り入れた、特別職含む対象者の人事評価の必要性 ・本区における公益通報者保護法運用の課題と対策 	区 長 関係 理事者
2	えごし議員 (公明)	身寄りのない人への支援	<p>現在、国では高齢化や核家族化などにより、身寄りのない人が増加している。区内でも、身寄りのない高齢者だけでなく、親族がいない、また親族が近くに住んでいない、親族と疎遠となり援助が受けられないという人も少なくない。</p> <p>身寄りのない人は、入院時の緊急連絡先や、賃貸契約時の保証人の確保など、他にも日常生活の中で様々な問題を抱えている。これらの問題に対して、本区でも取り組んでいただいているが、さらなる対応、支援の検討が必要だと考える。</p> <p>①「身寄りのない人が抱える様々な問題」について、区の認識と、現状の課題は？</p> <p>②身寄りがない人への支援の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への寄り添い支援 ・保証人、緊急連絡先の確保 ・終活情報登録事業 など <p>③支援ガイドラインの作成について</p>	区 長 関係 理事者

発言通告書(総括表)

令和6年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	永田議員 (自民)	経済安全保障と EV(電気自動車)戦略について	8年前にEV推進の質問をしたが、世界的なEVシフトに矛盾が生じたことで当時より状況が大きく変化している。内燃機関(エンジン)車よりEVの方が環境負荷が高いデータが公表されたことや、中国が国策として安価なEVを普及させているという経済安全保障上の問題がある。日本が先行するハイブリッドや水素技術が注目されている中で本区における経済安全保障の考え方とEV戦略について問う。	関係理事者
4	はやお議員 (自民党)	(背景) 1. 100条調査「総合設計制度及び地区計画制度に関する」振り返り 2. 100条調査により判明した、日比谷エリマネ社が無償貸付を受けた不動産で有償貸付をし、大きな利益を享受していることについて	<p>・連日報道され、兵庫県議会の100条調査「文書問題調査」は全国的に高い関心の問題となっている。</p> <p>・本区においても過去3回の100条調査権による調査がおこなわれ、本年は調査対象となる可能性のあった「官製談合防止法違反」の事案も発生している。</p> <p>・実施されたうち直近の100条調査について質問する。</p> <p>・調査最終報告書において、論点は7点ある。</p> <p>・うち6点目、「東京ミッドタウン日比谷」における「一般社団法人日比谷エリアマネジメント」に対する区有地の長期にわたる無償貸付について、その意思決定は、首脳会議を経ない上に、議会への報告も一切行われなれなかったことについて。</p> <p>(1)当時のまちづくり担当部長であった坂田融朗氏は証人尋問の証言の中で首脳会議に付議しなかった理由を問われ「首脳会議という一つの会議を飛ばしたに過ぎず、行政の中では、意思決定するのは文書主義であり、本案件も決裁を経ている。過程の中で会議を一つ飛ばしたことについて何ら不思議に思っていない」旨述べ、さらに、「無償貸付された広場用地の財産価値が200億であろうと1千億であろうがあまり関係ない」とも述べている。現在も、副区長は同じ考えであるかを問う。</p> <p>・純益は以下の通り。日比谷エリマネ社に賃料を支払わせ転貸を認める形式でも、成り立つ仕組みである。</p> <p>第5期(平成30年4月1日～翌年3月31日) 6284万7162円 第6期(平成31年4月1日～翌年3月31日) 6613万1262円 第7期(令和2年4月1日～翌年3月31日) 4866万4514円 ※コロナ禍の第7期でも5000万円弱の純利益</p> <p>(1)千代田区に帰属すべき収益を毀損する結果が調査により明らかとなった後も、なぜ何もせずそのままにしているのか。当時のまちづくり担当部長であり、現在事務方トップである、副区長に問う。</p>	副区長

発言通告書(総括表)

令和6年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	小枝議員 (声)	<p>1)教育と文化のまち千代田区宣言を踏まえた今後のまちづくり構想について</p> <p>2)神田警察通り沿道まちづくりについて</p> <p>3)不祥事と情報公開の徹底について</p>	<p>災害リスク、ヒートアイランド、コミュニティ、歴史文化、固定資産税負担等の観点から東京一極集中を問い直す時期と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画と協働について(対応が後手に回らないために) ・まちづくりにおける、大丸有、商業住居混合エリア、住居地域のゾーニングの重要性について ・文化財の消滅危機と区長の姿勢について ・地域課題に寄り添うまちづくり人材の拡充について ・日本の歴史と伝統を発展させるまちづくりに向けて「100年後の千代田構想」策定委員会の設置を。 <p>→時代の変化を踏まえ、開かれた街づくりを</p> <p>→公開コンペを行い、区民が納得し共有できる将来ビジョンについて、開かれた場で協議することが、神田平成通りまで工事を進める最速の方法ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の信頼を回復するために、最も重要なことではないか 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
6	大坂議員 (自民党)	<p>高齢者施策の現状と課題</p> <p>成年後見人制度利用支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が上昇していくことが見込まれる中において、本区における高齢者施策展開の基本的な考え方 ・高齢者施策に対する満足度向上に向けて ・在宅介護サービスの現状と課題 ・高齢者福祉施設の整備方針 <p>・これまでの取り組みと今後の課題</p>	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書(総括表)

令和6年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	岩佐議員 (次世代)	1,社会保障制度への理解促進と 相談機能の強化 2,社会的養護の推進について 3,シェアリングエコノミーの推進 とシェアリングシティについて	10月から短時間労働者へ適用拡大される社会保障制度は、その負担の大きさや制度の複雑さから無年金・滞納者も増えている。 老後の生活を支える国民年金等の公的年金・保険の制度についてより理解を深めるための周知や相談機能の拡大をしてはどうか。 保護者による適切な養育が困難な子どもたちに対しての支援について区の考えを問う。 シェアリングは、デジタル技術の活用により物だけでなく空間や人・スキル等広範囲で活用されている。 本区においても「共助」によって「公助」を補完し地域課題の解決をはかる手法として、また、地域共助による区民協働のまちづくりの一環として、シェアリングエコノミーを推進してはどうか。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
8	牛尾議員 (共産党)	(1)若い世代への支援について (2)物価高騰が続く中でくらしへの 支援の強化を (3)「千代田区入札不正行為等 再発防止検討報告書」について	○区の子どもに関わる施策はいずれも対象は満 18 歳まででそれ以降は打ち切りになる。奨学金返済など大変な状況である若い世代への支援策等を求める。 ○猛暑が続く中で負担が増える電気代等への補助を求める。 ○コロナや物価高の影響を大きく受けている零細事業者や飲食店などへの支援策を。 ○報告書の区の再発防止策で触れている区職員と議員との関係について、区の考え方を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書(総括表)

令和6年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
9	のざわ議員 (維新)	<p>1. 昨年の AI に関する一般質問につき、1 年経過した現時点での状況について</p> <p>2. 千代田区民と千代田区にかかわる人、企業に対する生成 AI に関する地方公共団体としてのプロモーションについて</p>	<p>令和 5 年第 2 回定例会で質問させて頂いた AI に関する (1)千代田区の AI の取り組み、(2)DX から AI 化について、(3)世界 AI 大会 AI オリンピックに関する開催について、(4)千代田区が世界的に有名な AI 最先端都市への取り組みについて 以上に関し、ご検討頂きましたが 1 年経過しその後の進捗などございましたらお知らせください。</p> <p>(1)生成 AI の活用のため、千代田区の大手企業においては RAG(検索拡張生成)導入及びファインチューニングでの解決を試みているが千代田区での取り組みについて (2)EBPM 導入に関して、EU 及びアメリカにも対応した新しいビジネスモデルにも対応した統合会計ソフト導入の検討について (3)RAG 活用による千代田区民と企業とはもちろん、首都圏、国民、世界の人々が千代田区との間に強い結びつきを感じ楽しい気持ち、幸せな気持ちになる取り組みについての検討について (4)地方創生の一環として国と連携し自動車産業に加え次の時代も世界で稼げる産業のスタートアップ新ビジネス支援・既存ビジネス拡張支援プロモーションと自治体取引所の創設検討について (5)千代田区が自ら世界で稼ぎ時短効率化、利益拡張生成 AI に稼がせ住民に還元交付する取り組みの検討について (6)千代田区全職員の生成 AI 対応リスクと迅速な対応のための DX 化次世代組織導入検討について</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
10	入山議員 (次世代)	<p>食品ロスについて</p> <p>九段千鳥ヶ淵・北の丸公園の観光資源について</p>	<p>千代田区食品ロス削減推進計画が策定されましたが、次年度に向けた検討状況はどの様にお考えか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業者との連携は ・区民への ICT を使った周知の徹底 ・地域の商店に向けた対策 等 <p>・歴史ある九段地区や千鳥ヶ淵は観光資源としては重要と考える。その地区の桜の木の老朽化が進む中、将来の世代に繋ぐ植え替えなど機能更新が急務と思われるがいかがお考えか ・国民公園の北の丸公園の利活用について試験的に行っていく予定だが観光事業としてどの様に国内外に発信していく予定か、また区民利用としてはどの様なサービスが考えられるか</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書(総括表)

令和6年第3回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	林議員 (自民党)	<p>○令和5年度決算</p> <p>○令和7年度予算編成方針と第4次基本構想</p> <p>○千代田区の人口増と防災施策</p>	<p>第4次基本構想初年度の到達点 主要施策の成果への掲載基準 職員数の不足による進捗や執行率が不十分の事業</p> <p>子どもが健やかに育つための環境の確保に向けた取り組みの成果と課題 形骸化している事業 令和6年度予算編成方針との相違点</p> <p>人口増加に適応する避難所整備 マンション給排水設備の耐震化 猛暑における避難所設置に向けた取り組み 令和6年地域防災計画の修正の影響 災害時における被災者相談の取り組み</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
12	岩田議員 (次世代)	<p>学校における動物飼育</p> <p>越境入学不正申請問題</p> <p>ハラスメントについて</p> <p>千代田区の再開発について</p> <p>猛暑対策について</p>	<p>望ましい動物飼育のあり方と今後の対応について</p> <p>区立小中学校へ区外から通う越境入学で不正な申請があった問題について</p> <p>区内で議論されているパワハラ・セクハラ等について</p> <p>殊に二番町の日本テレビビル建て替えについて</p> <p>区の対策について問う</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者